

各 位

平成 30 年 10 月 12 日  
 東京都港区六本木四丁目 4 番 8 号  
 株式会社ワイズテーブルコーポレーション  
 代表取締役会長兼社長 金山 精三郎  
 (コード番号：2798 東証第二部)  
 問合わせ先責任者 常務取締役執行役員 平尾 健治  
 (TEL 03-5412-0065)

**特別損失の計上、平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異  
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）におきまして、下記の通り特別損失を計上することとなりました。

また、平成 30 年 4 月 16 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結業績予想と本日公表の実績値において、下記のとおり差異が生じました。

あわせまして、最近の業績動向等を踏まえ、通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容及び金額

当社運営の「SALVATORE CUOMO & BAR 心斎橋」等につきまして減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として特別損失 37 百万円を計上いたします。また、平成 30 年 9 月 19 日に公表いたしました「The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋」の改装に伴う特別損失につきましては、実態に基づき固定資産除却損として特別損失 36 百万円を計上することとなりました。

2. 平成 31 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,120	48	88	47	17.73
今回発表実績 (B)	7,019	△19	52	△54	△20.66
増減額 (B - A)	△101	△67	△36	△102	—
増減率	△1.4%	—	△40.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	7,083	46	77	3	1.26

(差異の理由)

売上高につきましては、既存店については堅調に推移したものの、カジュアルレストラン事業におけるフランチャイズ事業の売上高が前回予想を下回る結果となりました。利益面については、フランチャイズ事業の売上剥落による影響のほか、当初の予想よりも人材関連コストが高騰したこと、「XEX 代

官山」の閉店及び新業態の開業にかかるコストが予想を上回ったことより、前回予想を下回りました。また、特別損失74百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を下回り、親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円を計上する結果となりました。

### 3. 通期連結業績予想の修正

#### (1) 通期（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 14,134	百万円 148	百万円 228	百万円 130	円 銭 49.06
今回修正予想（B）	13,913	43	153	△2	△0.86
増減額（B－A）	△220	△104	△74	△132	—
増減率	△1.6%	△70.4%	△32.7%	—	—
（ご参考）前期実績 （平成30年2月期）	13,972	△93	△9	△458	△172.36

#### (2) 修正の理由

平成31年2月期第2四半期連結累計期間の実績を反映するとともに、一部店舗の改装を新たに計画したことによるコストの増加、カジュアルレストラン事業における出店計画、及び連結子会社である株式会社パートナーワイズの事業立ち上げに伴うコストの増加等を勘案し、当該部門について予想を見直すことにより、通期の連結業績予想を修正するものです。

（注）業績予想については、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上